



保坂 悟
市議 市内スキー場の教育・福祉
観光拠点化について

市内スキー場の教育・福祉
観光拠点化について

質問

交流人口拡大のため、市内
スキー場を産官学が連携した
教育・福祉の観光拠点にする
べきと考えるが、子どもから

障がい者まで全ての人がス
キーを楽しめるようなバリア
フリーのスキー場として整備
し、全国に発信してはどうか。

また、防災教育の体験、問
伐体験等、オフシーズンの特
色あるプランはどうか。



野本 信行
市議 健康づくりの推進について

地域福祉・医療対策と
健康づくりの推進について

質問

施設介護の拡充策、市内医
療体制の強化策、高齢者向け
の健康づくり体制について伺
う。

市長答弁

施設介護の拡充については、
特別養護老人ホームの入所申
込者数や社会福祉法人の意
向、国県の補助制度等を勘案
しながら推進している。

医療体制の強化策について
は、従来から実施している医師
や医療従事者の確保、救急医

市長答弁

市内のスキー場では、既に障
がい者の利用に対応している
が、さらに今後も周知活動を
図っていきたくと考えている。

また、オフシーズンの提案に
ついては、ニーズの把握や受入
体制の整備が必要となるが、
体験学習のメニューとして検
討していきたい。

防災対策について

質問

学校の非常用自家発電装置
の設置、扇風機・石油ストー

療体制等の事業に加え、新年
度は、看護師確保策や高齢者・
要介護者のための訪問歯科診
療体制の充実を検討している。

高齢者向けの健康づくり体
制については、介護予防事業や
運動習慣の定着を図るための
地区運動教室等のほか、骨密
度測定や健康相談などを実施
している。



ブ等冷暖房施設の整備、簡易
トイレの備蓄など、学校の地
域防災拠点化について伺う。

また、防災会議等の女性委
員の登用の状況は、防災計画
における避難所の整備・運営
に、女性の視点や子育てニー
ズは反映されているか。

市長答弁

市内の全小中学校には、夜
間の緊急避難の初期対応のた
め、発電機等を配備済みであ
る。災害時応援協定に基づき、
状況により直ちに電源を確保
する体制としていることもあ
り、学校への自家発電装置の設

糸魚川市公共施設全体の
耐震化の進捗状況と
今後の促進計画について

質問

東日本大震災以降も各地で
たびたび地震が発生している
中、財政事情と耐震化事業の
優先度について見解を伺う。

また、市内小中学校や、市内
公民館等の公共集会場施設の
耐震化の現状はどうか。

市長答弁

公共施設は、災害時の避難
施設となることから早急な耐
震化が必要と考えており、順

置は予定していない。冷暖房器
具やトイレは、現有の備蓄分の
ほか、協定締結業者が手配す
ることとしている。

また、防災会議は35の組織・
団体が構成している。委員はそ
れぞれの組織、団体からの推
薦となっているが、現在、女性
の委員はいない。今後、地域防
災計画見直しの際に、女性の
視点も含め、各種団体等の意
見や提言を踏まえ、反映させ
ていきたいと考えている。

《その他質問項目》

・市職員の資質向上について

次耐震化を進めている。

市内小中学校については、現
在改築中の小学校2校と中学
校1校以外は耐震化が完了
し、改築中の3校も平成25年
度末までに完成する予定であ
る。一方、地区公民館について
は、耐震化が必要な建物24棟
のうち、今年度中に5棟が完
了し、残りの施設も平成26年
度末を目標に耐震化を進めて
いきたいと考えている。

《その他質問項目》

・糸魚川市行政運営の体制強化策と財政運
営の効率化・健全化の促進策について